

## 令和7年度第4回安城市地域ケア推進会議

日時 令和8年3月19日（木）  
午後1時30分～午後3時  
場所 社会福祉会館 3階 会議室

### 1 会長あいさつ

すっかり暖かくなり、安城公園ももう既に桜がちらほらしていた。今年はインフルエンザとコロナが2月でもかなり流行っていた。世界情勢にいろいろなことがあり、物価高、特に最近のガソリンの高騰は地域医療に関係する心配があるが、また皆様で協力してやっていきたい。

### 2 議題

(1) 令和7年度検討テーマ報告及び令和8年度検討テーマについて（資料1）  
各部会が（資料1）に沿って説明。

（意見交換）

医師会部会）

今回、医師会と訪問看護ネットワーク部会で災害時の対応について研修会を開催し、発災時の初動対応が共有できたことはよかった。より関係性を強化していくために、今後も継続的に行っていく必要性は感じたが、発表者や主催側の負担も大きく、来年度の検討テーマにはあげていない。このような集まりを継続していくためにはどうしたらよいかご意見をいただきたい。

歯科医師会部会）

戦争が起きていて、抗生剤や治療用の手袋などの衛生資材も不足している状況がすでに平時ではないように感じる。地域の歯科医院が個々に動くだけでは限界があり、在庫が切れると診療自体が継続できなくなる。地域として、医薬品以外の資材を含めた備蓄システムの構築を検討できないか。

施設部会）

市として「誰がストックし、非常時に誰が配分権限を持つのか」といった検討はされているのか。

事務局）

現時点では高齢福祉課として具体的な資材備蓄の計画は動いていないが、健康推進課など他部署の動向も確認する必要がある。

薬剤師会部会)

現在、診療報酬改定の中で、1ヶ月分の備蓄が努力義務化される動きはあるが、具体的な基準は未定。国も薬剤の国内製造への切り替えを進めているが、コスト面等の課題も多い。

会長)

現在の薬剤の供給状況等はどうか。

薬剤師会部会)

抗生剤に関しては一時期よりは改善されている。

衣浦東部保健所)

各部会の報告から「顔の見える関係づくり」が着実に進んでいると感じた。保健所としても、アルコール相談、専門医による相談窓口等で協力できるため、困っていることがあればぜひ活用していただきたい。

## (2) 意見交換

病院部会)

退院時には身元保証団体が必要な状況が必ず出てくるが、その身元保証団体が適切かどうかの判断は必要になってくる。静岡のほうでは行政がその判断をして公表しているところもあるので、検討してほしい。認知症のある方への成年後見制度も重要であるが、手続きに時間がかかり退院するタイミングに間に合わないことが多々ある。

薬剤師会部会)

現場ではキーパーソンが全くいない独居高齢者が増えている。認知機能が低下し、親族とも疎遠な場合、「誰に相談すべきか」が最大の課題。現在はケアマネジャーや民生委員、近隣住民の協力で繋いでいるが、孤立した一軒家でのケアなど、今後の対応に不安がある。

地域支援部会)

民生委員も支援者と一緒に高齢者を訪問することはある。担当地区の高齢者が倒れていて救急搬送されたりすると、民生委員が責任を感じてしまうことがある。支援者が多い方がそういった状況を早く発見できるのではないかと。

医師会部会)

法的な整備が追いついていない現状では、特定の誰かが責任を負うのではなく、関わる多職種全体で「保護者的な機能を持つ集団」を作ることがではないかと。

本来のACPとは、単なる「急変時の処置」を決めることではなく、本人の状態に合わせて

多職種が流動的に対話を重ね、「最適解を探し続けるプロセス」そのものである。こうした共通認識をこの会議を通じて形にしていきたい。

#### 連絡事項

- ・わたしノートの改訂について
- ・令和8年度代表選出について（資料2）



↑会議録確認  
できます！

次回 令和8年4月16日（木）午後1時30分～3時00分 社会福社会館 会議室